

日経225先物取引

超シンプルロジック

ドS ver.3



はじめに

このたびは、無料レポート「日経225先物取引超シンプルロジック（通称 **ドS**）」をお求めいただきありがとうございます。

本書は、ver.3として、末尾に変動幅の大きい相場でも生き残れる方法を提案させていただきましたので、どうぞご利用ください。すでに、ver.1,ver.2をご覧になっている方は、いきなり最終ページ（p 12）に飛んでver.3で付け足した部分だけ読めばいいかもしれません。

当レポートは、H27年7月まで無料で配布させていただき、お陰様で多数の方に関心を寄せていただきました。そんな折り、「成績も安定しているので有料で」とある方から御提案いただきました。それならと、有料化の準備を進めていたところ、御案内のように、H27年8月、9月と、中国発信の変動幅の大きい相場に遭遇しました。

1年弱の期間安定した成績を見せていた「日経225先物取引超シンプルロジック（以下 **ドS**）」も、H27年8月は-990、9月は-1290とひどい落ち込みをしました。これでは、自信を持って有料化することはできませんので、このロジックを封印しました。

また、10月に入って相場がやや落ち着きを取り戻して**ドS**の成績も回復してきましたので、ver2として再度紹介するようになりました。しかし、12月、1月とやはり成績は芳しくなく、すでに**ドS**単独では使えない時期に来てしまったことを痛感するに至り、折角注目して下さった多くの**ドS**ファン(?)のために、今回のver.3となったわけです。

それでは、

ドS「日経225先物取引超シンプルロジック」を紹介しましょう。

毎朝、買いのみでエントリー。引けで決済。

これだけです。

専門家ならば、笑ってしまうほどのシンプルロジックでしょう？恥ずかしげもなく「ロジック」などと言っていますが、しかし、これは現実のことなのです。

なぜ、こんな簡単なロジックが効果を発揮できるのでしょうか。

素人の私がすぐ思いつくことは、アベノミックス効果かなと思うくらいです。

H27年8、9月に効果を失ったとき益々その思いが募りました。こんな単純なロジックがいつまでも通用するはずがなかったわけです。ちなみに、先日ある方のH24頃の225ロジックに関するレポートを読みましたら、ドSとは全く逆に「毎日売りでエントリー」とありました。そういう「時代」もあったようです。

しかしながら、これまでのパフォーマンスがよくても、この先どうなるか必ずしも保証できないのは、他のどんなロジックにも当てはまることです。このことは、かつて私が様々な商材で経験するたびに感じてきたことです。

それにしても、昔から人々は過去の統計から読み取れることをもとにして将来のことを予測してきました。これは、今後も変わらないことと思います。そのうえで、状況の変化に応じてロジックに修正を加えてきたのだと思います。

冒頭でも申しましたように、

ひどく凹んだ月のことさえクリアすれば、この**ドS**は立派なものです。

この**超シンプルロジック ドS**の特徴は、一言でいえば

「(日経平均)株価は、高い確率で朝9時の取引開始時の値段よりも15:15の引け時間の値段のほうが高くなる。」

ということを表しています。

株価というものは、**何もなければ**基本的に右肩上がりになることが多いと思います。どんなチャートを見てもこれは言えると思います。下位のチャートで下げているトレンドでも、上位のチャートを見ると上げているということはいくらでもあります。

この**超シンプルロジック ドS**の場合、毎日の朝9時の寄付きから15:15の引けまでの、文字どおりデイトレードです。長い期間の上昇トレンドはイメージできても、一日の中での上昇トレンドが高い確率で起こるということは、普通イメージできないかもしれません。

そういう意味では、この**超シンプルロジック ドS**は、ちょっとした発見かもしれません。少なくとも50%以上の勝率にはなっていますから、高い確率とは言えないまでも「勝っている確率」になっています。

金融経済に詳しい方がもしこれを読んでいてくださるようなことがあれば、是非その辺の仕組みをご指導いただきたいものです。

私がこのロジックに気が付いてからの月丸ごとのデータ(大きくマイナスになる直前のH27年7月まで)は下の表のとおりになります。ご覧ください。

	日数	損益	勝率
H26年9月	20	200	60.0%
10月	22	180	59.1%
11月	18	-460	59.1%
12月	20	170	45.5%

H27年1月	19	1055	68.2%
2月	19	20	57.9%
3月	22	200	63.6%
4月	21	315	57.1%
5月	18	600	72.2%
6月	22	270	40.9%
7月	22	515	59.1%
計	223	3065	58.4%

計算すると、月平均損益は+223円（ミニ換算で22,300円）
1日平均+13.7円（ミニ換算で1370円）です。

元本10万で運用すれば、約22%の利益です。私がブログで「定期預金の100倍」と言っているのがうそではないことがお分かりと思います。

しかし、これは現実なのです。

10万の元本で月「たった2万」と考えますか？

私はそうは思いません。

次の表をご覧ください。

10万円の資金で毎日日経225先物取引のミニ1枚のトレードをして、月平均2万円の利益を上げ続けると、このようになります。

↓

月数	増加分	累計金額
スタート	元金	100,000

1か月後	+20,000	120,000
2か月後	+20,000	140,000
3か月後	+20,000	160,000
4か月後	+20,000	180,000
5か月後	+20,000	200,000

5か月後に元金は2倍になっています。

6か月目から、トレードの枚数を2枚にしますと、

6か月後	+40,000	240,000
7か月後	+40,000	280,000
8か月後	+40,000	320,000

8か月後には、元本は3倍を超えます。

9か月目から、3枚に増やしますと、

9か月後	+60,000	380,000
10か月後	+60,000	440,000

10か月後には、元本は4倍を超えます。

11か月目から、4枚に増やしますと、

11か月後	+80,000	520,000
12か月後	+100,000	620,000

このように、1年後には、何と元本は6倍を超えることになるのです。

まあ、あくまでも平均のことですから、実際にはこのとおりにはいかないでしょう。表を見ていただければ、もしこのトレードをH26年末に始めていたら1か月で資金は2倍に殖えてました。逆に運悪くH26年10月に始めていたら、資金を半分に減らし

ていました。そして、H27年8月にこのドSを始めた方は「騙された」と思ったか、「所詮無料のロジックだ」と思われたと思います。

それでも、約1年間の成績は不動のものです。

ですから、これまでの数字を信じて淡々とトレードを続けることができれば、今後もこの成績は継続していく可能性はあるのです。

ところが、
上記記述後、のH27年12月・1月は10月をさらに上回るダウンを記録しました。
そのため、H28年1月8日現在、1日当たり+0.6円になってしまいました。そこで、
このver.3では、ドS単独での運用を見限って、新たな提案をしています。
どうか、最後までお読みください。

さあ、始めてみませんか。FXなどより遥かにシンプルなトレード、日経225先物取引を。すでに他のトレードの経験者であれば、その経験を活かして、様々なバリエーションを楽しむこともできると思います。

そして是非あなたには、この**超シンプルロジック ドS**を超えるロジックを発見していただきたいものです。

ここで、初心者のために、口座開設と取引の詳細を説明しておきましょう。

口座開設からトレード開始までの流れ

では、まず証券会社に口座を作りましょう。

2, 3日でスタートできます。

私自身が口座を持っているところを紹介します。↓↓

カブドットコム証券

→<http://kabu.com/>

私は、今はカブドットコム証券だけで取引してます。

成行でそうなっているだけで

特に理由はありません。

チャートなんかはむしろ楽天のほうがいいかもしれません。

口座開設は難しくありません。運転免許証のコピーなど自分を証明できるものをメールで送ることもできます。

口座開設ができましたら、
資金を入金します。

ミニから始めましょう。

資金に余裕がある方でも、初めはミニ1枚からスタートすべきです。

慎重にトレードしていけば、1年で6倍です。運が良ければもっと早く達成するかも知れませんが、焦る必要はありません。資金管理をしっかりしないととんでもないやけどをしてしまいます。

ミニの証拠金は1枚¥50,000 から ¥100,000 くらいですが、

最低10万、できれば20万以上入金しておきましょう。

これには、わけがあります。

過去1年間での**最大ドローダウンが-645円 (H27.9.1)**, 即ちミニ換算で1日に64,500円の損失です。10万未満の資金では一発で吹っ飛んでしまいます。即日で追証(追加証拠金)を入れないと取引ができなくなります。催促の電話が来ることもあり, 私は出先で冷や汗かきながら指定の銀行に駆け込んだことがありました。なので, 20万あれば, 安心といえるでしょう。

では, **今すぐクリック!**

カブドットコム証券→<http://kabu.com/>

ほかに,

楽天証券→https://www.rakuten-sec.co.jp/ITS/rakuten_g/start/?sclid=0V_company

SBI証券→

https://www.sbisec.co.jp/ETGate/WPLETmgR001Control?OutSide=on&getFlg=on&burl=search_fx&cat1=fx&cat2=guide&dir=guide&file=fx_guide_02_01.html

もいいと思います。この2社はかつて私が口座を開いてトレードをしたことがあるところ。たまたま今は休眠状態というだけで問題があるわけではありません。

その他, ランキングサイトなどで調べてもいいと思います。

次に実際のトレードの仕方を説明します。

まず, 朝9時の取引開始時刻の前に予約注文を出します。

私は6時半から8時の間に注文を出しています。

6時半になると, チャートを見ることができますし,

8時前ですと, 株価の数値が明らかになっているからです。

↓

「**日経225mini先物**」の表を見ます。

(誤って「日経225先物取引」で注文すると,

ミニの証拠金の10倍以上入金してない場合, 受け付けてくれませんし, 受け付けられた場合は危険なことになるので, 要注意!)

↓

限月別になってますので、**出来高の一番多い月**を選びます。

「新規」のボタンを押して、

↓

注文内容は、

「**買い新規。1枚。成行**」です。

(ここで、ストップを入れておくこともできます。

ドローダウンの恐怖感はなくなりますが、利益は減ります。

私は、−200辺りに stop を入れることをお勧めします。)

↓

そして、確認画面で

誤って注文してないかどうか**確認**して、

9時の約定を待ちます。

↓

9時 (少し9時を回ることもあります) になって約定したら、

↓

決済注文を出します。

「1枚。**引け成り**。」です。

↓

15:15に決済の約定の連絡を待ちます。

以上です。

順番は逆になりますが、

「そもそも日経225先物取引とは何？」

日経 225 先物は、日経平均株価という株価指数を売買することで収益を狙う商品で、株価が上がると予想した場合は買い、反対に安くなると思ったら売ることにより利益を狙います。

1. 日経 225 先物取引は、日経平均株価（日経 225）を売買する取引です。
2. 日経 225 先物取引は、日経平均がこの先高くなると思ったら買い、安くなると思ったら売ります。日経 225 先物を買ったときは買い建玉と呼び、日経 225 先物を売ったときは売り建玉と呼びます。
3. 日経 225 先物取引は、最低取引単位を「枚」と呼び、一枚は日経平均株価指数の1000倍です。なお、日経 225 先物の取引単位を10分の1に小口化したものを日経 225 ミニと呼びます。
4. 日経 225 先物取引は、証券会社に証拠金を預けなければなりません。
5. 日経 225 先物取引は、株券の受け渡しがないので、損益のお金を受け渡す差金決済になります。差金決済が認められているので、証拠金が足りていれば自由にデイトレードができます。
6. 日経 225 先物取引は、少ない資金で大きな金額の取引を行うことができます（レバレッジを効かすことができる）。
7. 日経 225 先物取引は、決済期限があり、決済期日は3月、6月、9月、12月の第2金曜日の前日となっています。それまでに反対売買して清算していなかった場合、第2金曜日に自動的に決済されます。

さて、ここからは ver.2 で、付け加える部分です。

H27 年8, 9 月のような変動相場をどうクリアするか

私から以下の2点を提案したいと思います。

1. テクニカル指標のサインにより途中決済をする。

8月+635, 9月-140・・・これは、私の手法による途中決済の成績です。8月はマイナスどころか月平均さえ上回り、9月は少ない損失で済んでいます。

私が主に使っているテクニカル指標は、移動平均線とMACDですが、あなたの使いやすい指標を使えばいいと思います。ただし、朝の1, 2時間程度はチャートに貼りつくことになりますので、私持論の「シンプル投資法」には少々反することになります。

2. ボラティリティーが大きくなったらトレードを休止する。

通常の225相場ですと、日中±200以内ほどで値が動いています。それが、H27年8, 9月は、300から900ほど動きました。下には最大-710まで落ちました。それが、1, 2か月連日のように起こりました。ということは、たとえば8/11に-355を記録したときにトレードを1週間なり、1か月なりの休止を決断していれば、損失は軽く済んだか逆に利益を得ることもできたわけです。

次が **ver 3** で付け加える超重要な部分です。

3. 途中決済後、途転（ドテン）して、引け成り注文を出す。

途転とは、それまでの買い玉を決済したら即座に転じて売り建玉することです。1と3を合わせてのH27年8月からH28年1月までの成績は**1日当り+65**です。なんと、ドSロジックの100倍以上です。これは、やってみるしかありませんね。

ここでは、途中決済のテクニックについて、詳しく説明してありませんが、今それもまとめているところですので、もうしばらくお待ちください。それまで、あなたがご自分なりに研究なさってみるとよいと思います。

そして、その成果とご感想をお知らせください。お待ちしております。

↓

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/6dc57a51410827>

以上、最後まで読んでいただきありがとうございました。

ところで、

申すまでもありませんが、私が最も推奨する225先物取引投資法は、
ここでご紹介しました「超」のほうではなく、

「シンプル投資法」のほうです。

こちらもお読みいただければ本望です。

↓

<https://onedrive.live.com/redirect?resid=607730AF7E05E407!7146&authkey=!AHiWIIhURXEZC1M&ithint=file%2cpdf>

※注意！

言うまでもないことと思いますが、私は投資顧問の専門家ではありません。あくまでも私の経験から言えることを述べているのであって、あなたがこれからリアルトレードをした結果、利益を保証するものでもないし、また、損失に対して責任はありません。どうか、ご自身の責任で慎重にトレードしていただきたいと思います。